

日本：福島原発事故の避難民への支援は無条件であるべき と国連の専門家は述べた

ジュネーブ(2022年10月10日)－国連の専門家は、福島第一原子力発電所の事故から11年が経つ今も避難を余儀なくされている3万人以上の人々に対して、制限を設けず、人権とニーズに基づいた支援を提供するよう日本国政府へ促した。その対応は、影響を受けた地域の復興にも適用されるべきである。

「これら地域における長引く放射能への恐怖や、教育、医療、職などの基本的サービスへのアクセス面での不安もあり、出身地域に戻れないまたは戻りたくない避難民は多い」と国内避難民(IDPs)の人権を担当する国連特別報告者セシーリア・ヒメネス＝ダマリーは述べた。

また、専門家は、IDPs(日本では一般的に避難民と呼ばれる)を、その避難が災害の影響を恐れてであっても、強制避難命令のためであっても区別はしてならないと強調した。

ヒメネス＝ダマリーは10日間におよぶ訪日調査の[暫定的考察](#)において、「IDPsの保護と支援は、人権とニーズに基づくべきであり、国際人権法を根拠としないステータスを基にした区別で決めてはならない」と話した。

「すべてのIDPsは、日本国民としての権利権限を同じく有し、避難が強制か自主的かで区別して支援する実践は無くす必要がある。」

2011年の災害以降、IDPsは、住宅、医療、生計、参加、子どもの教育を含む基本的な権利へのアクセスにおいて、難題に直面した。「解決策を恒久的なものにするため、住宅を含めた十分な生活水準を得る権利、生計や職へのアクセス、帰還が求められている出身地域を含め避難に関連する権利の侵害に対する効果的な救済を確保するための条件を整えなければならない。」と特別報告者は述べた。

避難民が帰還するか移住するかについて決断をするには正確な情報が重要である。彼らが最も適切かつ恒久的な解決策を自由に選べる権利を保証する事も不可欠であり、この選択は帰還を条件に支援をする施策によって妨げられてはならない。

「避難を続けるIDPsのために、特に最も脆弱な世帯への住宅支援の提供と、全てのIDPsが持続可能な生計を営むための支援など、基本的支援は継続するべきである」と特別報告者は述べた。また福島県の復興に関しては、IDPsと地元に残った人々双方のニーズや権利に基づき、地域をベースとするアプローチを採用するよう当局に促した。

「社会的結束を固めるには、IDPsおよび福島県に現在住んでいる人々の双方が対話に参加し、すべての情報が提供され、復興に関する決定に自由に参加できることが重要である」とも述べた。

特別報告者は東京都、福島県、京都府、広島県を訪れ、行政・立法担当者、市民社会団体、弁護士、学術研究者らと会合を持った。また原子力事故の影響を受けた国内避難民とそのコミュニティからも話を聴いた。

特別報告者による本調査の全体報告は2023年6月の人権理事会で発表される。

以上

シーリア・ヒメネス=ダマリーは2016年9月の国際連合人権理事会で[避難民の人権担当特別報告者](#)に任命された。強制移住・移住分野の人権擁護弁護士。30年以上のNGO、人権擁護の実績を持つ。担当任務の範囲は全ての国を対象とし、人権理事会決議50/6のもと、任務延長とされた。

特別報告者は、人権理事会の[特別手続き](#)に属する。特別手続きは国連人権システムの中でも独立専門家が多く属している部門であり、特定の国の状況または世界各地のテーマを扱う、人権理事会の独立した事実調査機能、監視機能に付けられた一般名称。特別手続きの専門家はボランティアで国連職員ではないため、国連から給与は払われていない。専門家はあらゆる政府および組織から独立した職種であり、個人の立場で活動する。

[国連国内避難民に関する指針](#)を参照

国連国別人権ページ: [日本](#)

その他詳細、記者会見への参加登録、メディアに関する[問い合わせ](#)はクリシュナン・ラガヴァン (krishnan.raghavan@un.org CC: hrc-sr-idp@un.org) までお問い合わせください。

その他の国連独立専門家に関するメディアについては、レナート・ロザイロ・デ・スーザ (renato.rosariodesouza@un.org) 及びダリーシャ・インドラグプタ (dharitha.indraguptha@un.org) までお問い合わせください。

国連の独立人権専門家に関するニュースは[ツイッター \(@UN_SPExperts\)](#) でフォローをお願いいたします。

この世の中について心配ですか？
なら、誰かの権利のために今立ち上がりましょう。

#Standup4humanrights

ウェブサイト: <http://www.standup4humanrights.org>